

渡島・檜山地方税滞納整理機構の財務書類（令和元年度決算）の概要

1 貸借対照表

借 方		貸 方	
【資 産】	1,405 万円	【負 債】	0 円
投資等	860 万円	【純資産】	1,405 万円
うち基金	860 万円	その他一般財源	1,405 万円
流動資産	545 万円	うち基金	860 万円
うち現金預金	545 万円	うち現金預金	545 万円
【資産合計】	1,405 万円	【負債・純資産合計】	1,405 万円

資産総額は1,405万円で、負債は0円、純資産は1,405万円となっている。

資産については、基金と現金預金である。基金の内訳は、定期預金となっている。
現金預金の内訳は、一般会計の歳入歳出差引額の合計（剰余金）となっている。

2 行政コスト計算書

【経常行政コスト】	3,870 万円
人件費	205 万円
物件費	765 万円
補助金等	2,900 万円
【経常収益】	3,913 万円
負担金	3,913 万円
【純経常行政コスト】	△43 万円

経常行政コストは総額3,869万円であり、経常収益は3,914万円となっている。

これらの差引からなる純経常行政コストは△43万円となっている。

経常行政コストを性質別に見ると、人件費（顧問弁護士・監査委員報酬、各種手当等）が205万円、物件費（物にかかるコスト）が765万円となっている。補助金等の内訳として、派遣職員の給与等負担金が2,381万円、前年度剰余金の還付分が502万円、その他負担金等が17万円で、合計2,900万円となっている。経常収益は、構成各市町負担金として3,913万円となっている。

3 純資産変動計算書

令和元年度における純資産の変動は43万円となっている。

内訳として、純経常行政コストによる増が43万円となっている。

4 資金収支計算書

令和元年度末の歳計現金残高は545万円となっている。

現金残高は剰余金なので、翌年度、構成各市町に還付金として支出するものである。